

北口地区周辺でのベンチ設置の社会実験を検討してます！！

大泉学園駅北口地区まちづくり懇談会では、現在、北口地区周辺にベンチを設けることで街の回遊性を高め、大泉学園駅北口周辺を利用する方が気軽に休める場所を提供できないかを検討しています。

まずは、社会実験によってベンチの利用状況等を把握し、今後の設置の方向性を検討していきます。

社会実験の実施時期については、気候が温暖な季節での実施を目標に、実施内容の検討や関係機関との協議等を進めています。

なお、現在大泉街道と学園通りの交差点から大泉学園駅北口に入っていく区道22-152号線を実験場所の候補として検討しています。



ベンチ設置や放置自転車対策の先進事例視察を行いました！！

大泉学園駅北口地区まちづくり懇談会では、去る2月25日(木)に、ベンチ設置や放置自転車対策の先進事例である「自由が丘」と「吉祥寺」の視察を実施しました。

このうち、自由が丘では、地元の商店街振興組合の方々から、まちづくりの取り組みについての貴重なお話を伺うことができました。参加した懇談会メンバーも今後のまちづくりに活かそうと熱心に質問し、大変有意義な視察となりました。



自由が丘駅周辺(目黒区・世田谷区)

先進地区事例の紹介

【自由が丘商店街振興組合との意見交換から得たまちづくり情報(概要)】

- ・ 駅南口の緑道での放置自転車がひどかったことから、ベンチを多く設置し、歩行者が緑道として歩き、休める空間としての再生を図っています。
- ・ 自由が丘の商店街では、駅前まで自転車が進入することで事故が発生し、地域イメージがダウンすることのないように、駅から少し離れた場所への駐輪場の設置を自治体に要請しています。
- ・ 目黒区と世田谷区は、これを受けて、駅から約100~200m程度離れた場所に駐輪場の整備を行い、現在駅周辺での放置自転車は大きく減少しています。



出典：自由が丘オフィシャルガイドブック2008-2009



近年整備された地下式駐輪場



歩行者の歩行・休憩空間としてよみがえった緑道

【武蔵野市役所担当課から得たまちづくり情報 (概要)】

放置自転車対策

- ・吉祥寺では平成に入って放置自転車数が全国ワースト1となり、自転車対策事業が始まりました。
- ・対策事業は、 放置の防止、 駐輪場整備、 走行環境整備、 自転車利用安全講習会、 の4つを柱として います。
- ・新たな駐輪場(月極・一時利用)や歩道上の暫定駐輪場(月極・利用登録制。歩行者からの苦情も多いため 新たな駐輪場を整備することによって廃止予定。)の整備を進めています。
- ・銀行の駐車場を土日に駐輪場として無料で開放するなどの取り組みも実施されています。
- ・駐輪場の整備や利用登録の制限、放置禁止区域の指定、放置防止指導員による誘導・撤去などの効果もあり、 吉祥寺駅周辺の放置自転車台数は平成20年度にはワースト21位(東京都内での順位)にまで下がりました。

ベンチ設置

<公共のベンチ>

- ・歩道上のベンチは、高齢者や障害者等の歩行環境や快適性の向上を図ることを目的として設置されています。
- ・歩道幅員3m以上・300m間隔を目安に設置されています。
- ・ベンチは、不特定多数の人が使用し、場所によっては迷惑施設になり得るため、沿道住民等に十分に説明し、 理解が得られたところから設置が行われています。

<民間のベンチ>

- ・店舗等が民地内に設置したベンチが多数見られます。

視察当日は、地元市役所や商店街との日程調整がつかなかったため、事務局が事前に武蔵野市役所担当課にヒアリングを行 い、その情報をもとに視察を行いました。



土曜日に駐輪場として利用されている銀行駐車場



皆の休憩場所になっている歩道上のベンチ

【視察参加者の感想など】

<自由が丘>

地下機械式駐輪場は、とても早いスピードで格納されていた。出庫するところも見たかった。地下駐輪場が練馬区でもできれば放置自転車解決のきっかけになると思う。 駅前に路線バスが入ってこれない雰囲気や電車の利便性も良いので、道が狭くても良いのでは。 荷捌き車も歩行者が道路を歩いてもクラクションを鳴らさない街だった。 道が狭く人通りも多いので、自転車も置きにくいのでは。 商店街の活動も活発だが、理事・役員は大変そうだった。専門的に動いている感じがした。 振興組合がしっかりしていて1つ1つ焦らずまちづくりをしていた感じがした。 変電設備が民地内や建物にうまくとけ込むようなデザインがされていた。 機械式駐輪場は、今後の活用を期待したい。

<吉祥寺>

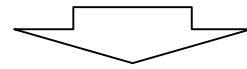
吉祥寺はあらゆる所に駐輪場があった。1つだけ大きな駐輪場を作っても解決しないと感じた。この状況を見ると本気で街なか に駐輪場を沢山つくらないといけないと思う。

<自由が丘・吉祥寺共通>

自由が丘も吉祥寺も店が洗練されていて魅力のある店舗が多かった。 自由が丘も吉祥寺もベンチが街にとけ込んでいて親子連れなどにも利用され微笑ましい雰囲気だった。大泉もうまくベンチを設 置して散歩を楽しめる街になると良い。

ミスタードーナツ前の道路が整備されました！！

これまでミスタードーナツ前の道路は、部分的にガードパイプによって囲われていましたが、隣接するマンションで総合設計制度を用いた公開空地が整備されることとなったため、大泉街道から仲町銀座商店街までの間の歩行者空間が連続する形となるように、歩車道を分離した整備が行われました。



総合設計とは、一定規模以上の敷地面積及び一定割合以上の空地を有する建築計画について、その計画が、交通上、安全上、防火上及び衛生上支障がなく、かつ、市街地環境の整備改善に資すると認められる場合に、各特定行政庁の許可により、容積率、斜線、絶対高さの各制限を緩和する制度です。

これからも地域のみなさまには、まちづくりニュースを通して、懇談会の活動についてお知らせしていきたいと思っております。これまでに発行したまちづくりニュースも練馬区ホームページに掲載されていますのでご覧ください。
(掲載場所 <http://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/machi/kakuchiiki/oizumi/index.html>)

2月よりホームページアドレスが新しくなっています!!

大泉学園駅北口地区のまちづくりについてご意見・ご要望がある方は、下記の《お問い合わせ先》事務局までご連絡ください。

お問い合わせ先

《事務局》 練馬区 環境まちづくり事業本部

都市整備部 西部地域まちづくり課 池上、山口、三好、多賀

TEL 5984 4753(直通) E-mail seibu02@city.nerima.tokyo.jp